

## 前回6月16日の例会記録

### 出席の状況

会員数 56名 (内出席免除 3名) 出席者数 42名 欠席者数 14名

出席率 76.36% 前々回訂正 81.82%

欠席者 相原, 原田, 位田, 加戸, 小橋, 小松原, 永見, 大賀, 高橋(裕), 丹治, 槌田, 氏房, 山下(平野)

### ビジター

〈高梁RC〉小見山 豊 様、〈岡山RC〉田中 信行 様

### S.A.A.



塩飽会員

患者様よりお志を戴きましたので、スマイル致します。



花房会員

年度の終わり頃になって、少し出席率が上向いてきました。終わり良ければすべて良しといきたいものです。本年度あと2回宜しくお願い致します。



高橋(峯)会員

久しぶりに社用のゴルフコンペに参加しましたが、クラブを振り上げると、足元がグラグラしてしまいました。しかたなく掃除スタイルの払い打ちで何とかまわりましたが、つくづく年齢の限界を感じてしまいました。

以上、3件 18,000円(累計 1,127,000円)

### 会長報告

今年度の例会も残り2回となりました。ひな壇を始め、理事役員と会員の方々には運営面でいろいろお世話になり、ありがとうございました。改めて、御礼申し上げます。金銭面では会員数の増による入金収入、スマイルの目標達成等により、黒字となっていますので御安心下さい。今日は何人かのパスト会長から「先輩方からのエール」と題して卓話をいただく予定になっています。どんな話をさせていただけるのか楽しみにしています。

会長 横山 俊彦



### 幹事報告

1. 第8・9グループIMの報告書が届きましたので配付しております。

幹事 山田 喜広



## 例会プログラム

### 「先輩方からのエール」

初代会長 梶谷 喬 会員  
RCの使命、めざす所は、奉仕と親睦である。若い会員の皆さんは運動公園の清掃活動、花火大会のあとの旭川堤防の清掃活動、岡山県自然保護センターへの植樹等…積極的に参加すべきである。一方、70歳以上の高齢の会員は、これらの奉仕活動に参加することが困難であるので、ロータリー財団へ寄附をすべきである。若い会員は親睦活動として、家族例会、夜間例会、IDM (Informal Discussion Meeting) (岩本会員のお世話で済生会病院の食堂や原田前会員の「はまゆう」で開催された。)に積極的に参加して、一杯飲んで先輩会員と親しく話し合う機会をもつことが大切である。



柏野 正義 会員  
一寸と思いながら、何時の間にやら23年経ちました。最初は出席委員に指名され、新生クラブに課せられた100%に苦労したことを思い出します。



創立10周年のとき、何の巡り合わせか会長役が回ってきて、不安一杯でしたが、会員皆さんに助けられて、周年行事を無事終え、得難い感激と経験をさせて頂き感謝しております。記念事業の一つである京都朱雀ロータリークラブとの友好活動も、以後歴代友好クラブ委員長のご尽力により、ますます充実されておりご同慶の至りです。

私は運輸業にいましたので、福島から九州まで得意先回りをしていました。訪問先でロータリアンにお会いしたときなど、共通の話題が助け船になって、話題に乏しい私には色々勉強になりました。また社用で裾野市へ行ったとき、富士

急の路線バスで移動中、長泉町で偶然にも道端に“米山梅吉記念館”と書かれた白い道標を見つけました。日本ロータリーの父、米山翁の記念館なので是非寄りたいたいと思いましたが、時間の都合もあったので次回にまわし、その後の出張時に、同伴の社員と一緒に同記念館を訪問することができ、職員の方も喜んでくださいました。

今、私は退職してフリーです。近年、クラブも若年層の方々を迎えて、活動も活発になり新鮮に感じます。烏澁がましいことですが、ニッサンのゴーン社長の「人の意見に耳を傾けること」私は好きです。

あまりお役に立てない会員で、そろそろと思いつつも例会場が近いのと、皆さんにお会いでき、卓話を聞かせて頂くのを楽しみにしています。今しばらくよろしく願います。

#### 「老境 人生観の一端」

南 葉 幸 雄 会員

- 1.老境 江戸時代の呼称：老入（おいり）  
新年毎に人生行路の入り口である。故に惰性を自戒せよ。
- 2.国歌 君が代の歌詞で歌われない古今和歌集。  
特筆化したい部分とされ、文面化省略。
- 3.家庭教育で受けた薫陶に人生の至言あり。  
少年時代の剣道試練で受けた「小手」と「面」打の叱声  
“人に勝つより 自分に勝て”
- 4.「老入」人生観の一端  
(1)老後の人生は自分で自分を創ること。  
そこに新しい自分を発見する。  
(2)“生きるのが楽しくなる15の習慣” 日野原重明著  
(3)水墨画「金閣寺」の画影に感じるもの  
室町幕府三代将軍足利義満がAD1397年造営。  
自画習練中を感じつつある凝縮された詩情。 以上



塩 飽 健 会員

先日、医師免許を確認すると、昭和34年8月に取得しておりました。医師活動も永くおこなってきたと、改めて考えるところでございます。

私ももう80歳を超えておりますが、今まで癌や悪性腫瘍など色々な病気と付き合ってきました。定年後はもう15～16年たちますが、福山に通勤しております。その変わらない生活が、病気に打ち克つ「元気の源」であると感じております。

今後ともよろしく願いいたします。



高 橋 峯 男 会員

高橋裕・初代2代幹事に引き続き3代目の幹事役を引き継ぎましたが、早 入会してから24年目を迎えました。50歳からの後半人生を「ロータリー」と共に歩んできたと思います。

入会の動機としては、新しくクラブが誕生する事と、従来の食品製造業から不動産賃貸業に180度の業種転換をした事の2つが大きな理由として挙げられます。

従来からの食品製造業に将来的な不安を感じていた事や、販売先である中央市場が流通の大激変に吞まれ、巨大資本のメーカー、並びに巨大資本の間屋・商社、更に巨大スーパー等の販売流通業しか生き残りが困難ではないのかと思いました。

今からこの決断を振り返ってみるとこの業種転換は止むを得なかったと思わざるを得ません。只製造業からの撤退に伴い従業員達に他の道を歩ませたと言う思いは消え去る事が出来ません。

新しく入会された方々は色々な業種に属していますが、今の社業を発展させ社員共々社会に貢献される事を望んでおります。

#### 「新しい会員に対するメッセージ」

岩 本 一 寿 会員

急なご指名なので大変戸惑っておりますが、私の入会の経緯や、日頃思っていることなどについて、短い時間ですが、お話しさせていただきます。

私の入会スポンサーは高橋峯男会員と岡村秀男会員です。高橋峯男会員とはある物件の取引でお付き合いをしていたところ、ある時、同級生である岡村会員を伴って来訪され、北西ロータリー



クラブへの入会を勧誘されました。

ロータリークラブについては、全く知らないことはなかったのですが、それまでの私の認識は、「功成り名を遂げた人の社交場」とぐらいにしか思っていませんでした。私には無縁のところとっており、それ以上の関心はありませんでした。私の知っていたロータリークラブといえば、岡山RCと南RCで、それ以外は東西北もあるらしいぐらいの知識でした。

しかし、お二人から熱心に入会を勧められるうちに、少し考えてみようと思うようになりました。そこで思い出したのが、私の元上司であった故大和院長が南RCの会員であり、RC会員であることを誇りにされ、人生修行の場として生き甲斐にされていたこと。思い出せば、先生が国際奉仕委員長をされていたとき、GSE交換留学生のお世話を熱心にされていたこと、お蔭で私は当時米国からの留学生の世話を手伝わされたことなどが思い起こされました。そこで入会の是非について考えました。申し訳ありませんが岡山北西RCがどんなRCか全く知りませんでしたが、入会するなら、大学教授や著名な企業人のいる名門RCより、新興RCの方が堅苦しくなくてよいと思いました。私達は同業者の集りや交流会にも参加しますが、仕事上の付き合いが多く、どこまで本音の話が出来るか、皆さん考えながら付き合っているのではないのでしょうか。

RCは異業種の集りです。自分の経験したことのない世界を知ることが出来るし、違った角度で自分を見直すことも出来るのではないかと思います、入会を決心しました。RCの奉仕の心は未だ身に付いてはませんが、北西RC会員であることは、私の身の丈に合っていると思っています。私は実は内向的な性格で、自分では社交的なことは本当は向いていないと思っています。だから、RCで性格修正に努めています。

ところで、今、私の関心事の1つは、将来の日本社会です。ご承知の通り、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、提灯型人口構成の底を迎えます。そして、その後は少子・人口減社会となり2060年には昭和30年代の人口になるそうです。私は30年代は青春時代でした。お金はなくても、自動車がなくても不幸とは思っていませんでした。物はなくても、人の心は今よりは明るかった。自己中心ではなく、助け合いの心、お互いさま精神が生きていた。今はどうでしょう。個の主張、人権、プライバシー主張が強すぎませんか。2060年には私はもとより多くの皆さんも生きてはいませんから、本当はどんな社会となっているか分かりませんが、世界は力の強い国が残る。結局、力が正義となる。米国、ロシア、中国の現状と将来をみればお分りでしょう。日本も力をつけなければいけない。このままでは傾国が心配です。時間となりましたので、終わります。

岡村 秀男 会員

“先輩からのエール”、のファクスを受け取ったとき、むしろ私にエールをお願いしたいと思いました。現在会員が56名の中、創立時の会員が18名約32%の皆様が活躍されており大変喜ばしいことと思います。30～80歳の会員構成の中で、この会が上手く運営できることは、この会員の方々の思い、これが会の“不調和の調和”とゆうべきでしょうか、私自身創立より23年間何を貢献し出来たか、具体的には分からないが、この会は自分より能力のある人の集まりで、他人の知識を吸収することも入会時にその思いもあり、又異業種方々と安心して話会えること、これはお金では買えない財産で、人とのつながりも又同じあると思います。これからもこの財産を大切にしていきたいと思うのでよろしくお願ひします。

## 例会情報

### 本日のメニュー（6月23日）

八寸 枝豆胡麻豆腐（卸し生姜 セルフィーユ 琥珀ジュレ）  
瓢亭玉子 鱸香草男爵焼（バジル） 小袖蒲鉾ロー焼 茄子鉄焼 唐黍寄揚げ 獅子唐焼浸し  
山桃甲州漬け  
焚合せ 若鶏と小燕のスープ煮 姫赤茄子 青身 荒胡椒 みじんパセリ  
御造り 勘八 鮪 芽物一式 県産昔醤油 小鉢 法蓮草お浸し 釜上げしらす 糸花鯉  
御飯 岡山県産こしひかり 赤出汁 浅蜷 洗葱 粉山椒 香物 三種

### 次回のメニュー（6月30日）

塩麹づけマグロとアボガドのタルタル仕立て 豚肉のワイン煮込み エストゥファード風  
トマトとゴーヤのサラダ デザート コーヒー パンとバター